



自由民主党

いとう たつ や

伊藤達也

元金融担当大臣／衆議院議員／松下政経塾出身

VOICENETmini
2008年10月号

発行所
フォーラムフロンティア
(伊藤達也連合後援会)
〒182-0024
調布市布田1-3-1
ダイヤビル2F
TEL 042-499-0501
FAX 042-481-5992

金融不安への処方箋

臨時国会が開会し、本格的な議論がスタートしました。しかし、民主党の小沢代表は、代表質問を終えるとすぐに本会議場から退席し、国会論戦の先頭に立とうとされません。世界的に金融不安が広がり、また総選挙を控えて党首力が注目されているときだけに残念なことです。

今回の米国発の金融不安に対し、米国では議会との調整が難航しています。その理由は、どの程度公的資金が必要なのか、議員が十分理解できていないからです。各金融機関の財務状況がどの程度悪化しているのか判らない中で、とにかく75兆円もの公的資金を必要だと政府に言われても、納税者を説得できないでいます。

まるで97年秋以降の日本を早送りのビデオで見ているようです。しかし、当時の日本とは違って、不安のスピードは速く、その範囲は広く、しかも基軸通貨の国が震源地となっています。

米国は少なくとも3月には、大手金融機関の財務状況を把握し危機対応の枠組みを準備すべきでした。金融不安の解消に不良債権の全体像を明らかにし資本不足の金融機関に必要十分な公的資金を投入するしかないと言うのが日本の教訓です。

今こそ米国の政治的指導力が求められています。世界の金融不安は、日本の経済にも大きな影響を与えます。米国をはじめ、各国当局と緊密に連携をとるとともに、当面の重要課題は緊急経済対策を着実に実施をしていくことです。そして、国内外の資金需要に適切に応えていくべく金融機能を発揮していく必要があります。

金融担当大臣として不良債権問題と闘った経験を今に生かし景気のためなおしと経済の活性化に全力で取り組んでいきます。

衆議院議員 伊藤達也



東京都第22選挙区は、
調布市、三鷹市、稲城市、狛江市
で構成されています。

伊藤達也のこれまでの歩み

生い立ちから政治を志すまで

昭和36年7月6日(47歳)かに座 O型

調布第一小学校、調布中学校を経て、慶大法学部卒業

早朝から野川の河原でボールを追いかける野球少年。中学受験するも、すべて失敗。挫折を癒してくれたのはやはり野球だった。

高校では甲子園を夢見て野球部に入部するも、直後に母親が病に倒れる。看病のために退部。多くの人に支えられたが、3年後に母を失う。

松下政経塾へ

医療や福祉の世界の矛盾と向き合う。その矛盾を変えられないか、一人でも多くの人を救えないか、と考えて松下政経塾の門を叩く(5期生)。政治への志を固める5年間となった。

夫婦でピザ店をはじめる。「政治家を志すにあたり、自分と家族の生活費くらいは自分で賄えないといけない」という師・松下幸之助の教えに従った。

政治家として

1993年 衆議院議員総選挙で初当選(以来、連続5回当選)

2000年 通商産業政務次官、党経済産業部会長、衆議院環境委員会筆頭理事

攻めと守りの構造改革を訴える。IT・中小企業政策、環境問題などに取り組む。

2002年 内閣府副大臣(金融担当)、(金融・経済財政政策担当)

2004年 金融担当大臣

金融危機の真っ只中、竹中大臣と金融庁へ乗り込む。金融再生プログラムへの強い抵抗にもひるまず、不良債権問題を終結させた。

2006年 政調会長補佐として、上げ潮政策を起案

その他、党総務、幹事長補佐、対外経済協力特別委員長
u-Japan特命委員会幹事長、地域再生調査会長、衆議院決算行政監視委員会筆頭理事、
財務金融委員長、予算委員会理事など

2007年 松下政経塾で「現代政治講座」を受け持ち、後進の指導にあたる

2008年 内閣総理大臣補佐官として、社会保障を含む経済社会構造 改革を担当

家族 : 妻と一男一女の四人家族

趣味 : 野球・映画鑑賞

座右の銘:「成功の要諦は成功するまで続けることにある」

政策提言する「達也の直球勝負」

ほとんど毎日更新中「伊藤達也ブログ」など内容充実!

伊藤達也

検索

<http://www.tatsuyaito.com>

伊藤達也事務所: 〒182-0024 調布市布田1-3-1 ダイヤビル2F TEL 042-499-0501 FAX 042-481-5992